

社会福祉法人マインドはちおうじ

2018（平成30）年度

事業計画



法人の理念

精神障害者、その家族、市民が「安心」「豊かさ」「自信」を持って暮らせる街づくりをめざします。

安心への支援

- 人と人がつながる環境づくりを進め、その輪を広げていきます。
- 身近にいつでも相談できる仕組みを作ります。
- 支援が届かない精神障害者、家族が孤立をしないサービスを進めていきます。

豊かさへの支援

- 「生活の豊かさ」を実現するために、住居の確保、各種制度やサービスの活用と充実に取り組みます。
- 「働く豊かさ」を感じられるため、個々の適性や能力に応じた就労支援の充実と、安心して働き続ける場づくりを行います。
- 「こころの豊かさ」を感じられるように、様々な社会参加の機会を広げることに取り組みます。

自信への支援

- 一人ひとりの想いや自己決定を尊重し、自信を持って歩めるように支援します。
- 個々の夢や可能性へのチャレンジと、その実現に向けて支援します。
- 地域社会へ、精神障害の理解が広がるように働きかけます。

法人本部…(1)

ピアわかくさ…(2)

リサイクルわかくさ…(3)

ビーイングスペース萌…(4)

オープンスペース本郷町…(5)

グループホーム…(6)

マインドはちおうじ相談支援センタ …(7)

地域における関係機関協力の一覧…(8)

作業関係主要受注・納品先一覧…(9)

平成 30 年度（2018 年度）マインドはちおうじ事業計画

[法人全体]

1. 利用者に対する姿勢（質の高いサービス提供とプロセス）

- 理念に基づき、個々の意思決定を尊重し目標や希望に近づけるよう、専門性を生かした質の高い支援・サービスを提供し、利用者には選ばれる事業所をめざします。
- ホームページやパンフレットを刷新し、利用者及び地域の方へわかりやすく情報を発信します。

2. 社会に対する姿勢（地域福祉の推進）

- 障害者地域自立支援協議会や地域の関係連絡会等に積極的に参加し、他障害分野及び、重度障害者支援や病院・施設からの地域移行の課題へ取り組みます。

《法人の地域貢献事業について》

- 現在、オープンスペース本郷町に併設で、フリースペースとして、法人事業所利用登録外の方でも自由に参加できる「リラックスルーム」を提供しています。
- 今後は、社会福祉法人が本来持つ公共性・公益性だけでなく、民間団体の強みを発揮し、地域のニーズに対して、法人が有している人的・物的資源を活用することで、どのような貢献ができるか、具体的な実施計画をつくります。

3. マネジメントに対する姿勢（経営基盤強化）

- 本年度の報酬改定や新事業創設に対応すること、現在の事業を評価・分析し、今後強化・取り組むべき事業を見極め、法人全体の中長期的経営の安定をめざします。
- 施設長はもとより職員ひとりひとりが、事業経営への意識を持てるよう、各々の事業所だけでなく、法人全体の運営状況が把握出来るよう情報共有と研修の機会を設けます。

4. 人材に対する姿勢（人材育成）

- 施設長を含めた異動、新人配置を行い、新たな能力開発を行い、各職員の支援の幅を広げます。また、事業所間の人事交流や法人内外の研修を積極的に実施します。

5. 法人の安定経営に向けた姿勢（一体経営）

- 一事業所の常勤職員体制を 6 人程度の集団にして、支援力や運営の標準化を高め一体的な事業運営（リサイクルわかかさ、ピーニングスペース萌）、ピアわかかさの多機能化に向けて、近接地への移転や再編、拡大など中長期計画に織り込むことを検討します。
- 社会福祉法等の改定に対応した法人の運営組織体制を整備するため、本部職員体制や事務局会議と施設長会議の機能の見直しを行い、本部機能の強化をすすめます。
- 昨年度着手出来なかった中長期計画を策定します。

2018（平成30）年度 事業計画 [ピアわかくさ]

障害者総合支援法 障害福祉サービス：就労継続支援B型事業所

1. 平成30年度事業方針

- ・就労継続支援B型事業として、利用者の方の「働きたい」「役に立ちたい」という希望を大切に、一人ひとりの持てる力を活かします。
- ・利用者の方の障害の多様化、それぞれのニーズの多様化に合わせ、作業やその他のプログラム、また新規事業（生活介護事業等）の検討を進めます。
- ・第三者評価受審

2. 平成30年度重点課題、及び具体的な取り組み

① 施設運営管理

- ・活動場面において職員間の気づきを言語化し、定例会議以外の場面でも共有を図ります。
- ・事業の検証の為、分析会議等、他の事業所職員からの意見交換ができる機会を作ります。
- ・積極的な研修参加を進め、職員の支援力を高めます。

② 財政

- ・1日当たりの平均利用者数は20名程度を目指し、多くの方の利用を受け入れます。

③ 利用者支援

- ・利用者の方の事業所利用時間以外の生活を意識し、サービス利用計画や個別支援計画を元に事業所の活動が豊かな生活につながるよう支援をします。
- ・作業以外の時間、学びの場（時間）を検討し実施します。

④ 作業活動

- ・利用者の方の時間給のアップを図り、月額工賃は1万円以上を継続できるよう作業を確保します。
- ・障害の多様化に合わせその人が取り組みやすい作業場面や環境を作り、治具を工夫します。
- ・就労希望の方へは、就労前訓練、施設外実習の機会を増やし、他事業所への登録や移籍も検討します。

3. 利用状況

定員 20 人 / 契約者数 34 人 (4月1日見込み)
(男性 21 人 女性 13 人)

4. 数値目標

	平成29年度実績(3月末見込)	平成30年度目標(年間平均)
年間開所日数(※1)	241 人	241 日
一日平均利用者数	20 人	20 人
年間新規登録利用者数	4 人	5 人
年間就職者・就学者数	1 人	1 人
月額平均工賃支給額	13,480 円 / 1 人	13,600 円 / 1 人

* 月額平均工賃 : 月額工賃支払総額 ÷ 工賃支払対象実人数とし、0円の場合は対象としない。

2018(平成30)年度 事業計画 [リサイクルわかくさ]

障害者総合支援法 障害福祉サービス : 就労継続支援B型事業所

1. 平成30年度事業方針

現在のリサイクルわかくさの活動を発展しつつ、ピーニングスペース萌との一体的な運営を目指して連携をはかり、書式統一など業務の合理化とサービス提供の中身について検討をして整理していきます。

2. 平成30年度重点課題、及び具体的な取り組み

① 施設運営管理

- ピーニングスペース萌との連携を図り、書式統一、業務整理など行い共有と検討の場など一体的な運営体制を目指します。
- 職員のスキルアップを目指して利用者支援、運営に係る研修参加を行っていきます。
- 第三者評価を活用して運営全般のより良い利用環境の整備を図ります。

② 財政

- 一体的な運営を視野にいれ、財政状況を整えていきます。
- 利用環境の整備を行い、平均19名の利用を目指します。
- ショップ環境の整備やインターネットの活用など行い、法改正を注視した売上、工賃の向上を目指します。

③ 支援内容

- ピーニングスペース萌と書式統一など整備し、引き続きサービス利用計画とも連携した計画を作成し、リアルニーズの達成を目指します。
- 個別に応じた他資源見学や研修などを行っていきます。

④ 作業活動

- 短時間から長時間の作業をとおして、ショップ売上の向上を目指し、イベント参加やショップ以外の作業も提供しながら全体的な工賃アップを目指します。

●

3. 利用状況

定員 20人 / 契約者数 36人 (4月1日現在)
(男性 28人 女性 8人)

4. 数値目標

	平成29年度実績(3月末見込)	平成30年度目標(年間平均)値)
年間開所日数	241日	244日
一日平均利用者数	16.37人	19人
年間新規登録利用者数	3人	8人
年間就職者・就学者数	1人	1人
月額平均工賃支給額 (*)	11,000円/1人	12,000円/1人

* 月額平均工賃 : 月額工賃支払総額 ÷ 工賃支払対象実人数とし、0円の場合は対象としない。

2018(平成30)年度 事業計画 [ビーイングスペース萌]

障害者総合支援法 障害福祉サービス : 就労継続支援B型事業所
(ベーカリー ディープフォレスト高尾店 ~はたらくよろこび 誇りの回復~)

1. 平成30年度事業方針

リサイクルわかくさとの一体化を視野に入れ、運営面、活動面、支援面において協力体制を構築していきます。

パン製造事業の受注量、生産量、収益等の分析を行い、ある程度の稼ぎを目指した支援のツールとしても活かし、必要に応じて新たな作業の導入も検討します。

2. 平成30年度重点課題、及び具体的な取り組み

① 施設運営管理

- ・職員の異動に伴い、常勤職員はパン製造事業に携わり、今後の事業展開を検討していきます。
- ・リサイクルわかくさとの事業の一体化を進めます。(実務面、支援面において協力体制を構築)
- ・職員会議及び朝のミーティングを定例化し、職員間の情報共有に努めます。またリサイクルわかくさとの合同会議も設定し、活動の検証の場を作ります。
- ・利用者の方の増員に伴い、事業所の移転、拡張を検討します。
- ・第三者評価の受審

② 財政

- ・1日当たりの平均利用者数を17名とし、新規の方7名を目標に多くの方の利用を受け入れます。

③ 利用者支援

- ・就労を目指す場として、稼げる場として、事業所以外の活動の機会を作りながら、その方に応じた就労支援を展開していきます。
- ・勤務シフトをシンプルにし、就労時間の明確化に努めます。

④ 作業活動

- ・月額平均工賃1万円以上を目指します。パン製造事業の分析を行い、その他の作業導入も検討し、安定した作業量を確保します。

3. 利用状況

定員 20 人 / 契約者数 31 人 (4月1日現在見込)
(男性 19 人 女性 12 人)

4. 数値目標

	平成29年度実績(3月末見込)	平成30年度目標(年間平均値)
年間開所日数(※1)	254日	255日
一日平均利用者数	15.6人	17人
年間新規登録利用者数	7人	7人
年間就職者・就学者数	0人	2人
月額平均工賃支給額 *	10377円/1人	10500円/1人

* 月額平均工賃 : 月額工賃支払総額 ÷ 工賃支払対象実人数とし、0円の場合は対象としない。

2018(平成30)年度 事業計画 [オープンスペース本郷町]

障害者総合支援法 障害福祉サービス多機能型 : 就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練)

1、平成30年度基本方針

- ・1階(通過・ステップアップ型)と、2階(定着型)の機能を活かし、幅広い年齢層に合わせた活動を行い、新規利用者および卒業者を増やします。
- ・訓練効果を高め、就労・就学および工賃アップを積極的にすすめます。

2、平成30年度重点課題、及び具体的な取り組み

① 施設運営管理

- ・職員の異動、新職員体制に伴い、1階・2階でより一体的に運営します。
- ・7月より、定員を変更、就労継続支援B型28名、生活訓練12名とします。
(変更前B型24、生活訓練16)
- ※職員配置は、前年度平均利用人数で決まるので、定員変更に伴う変更や予算の変更はなし。
- ・新事業である就労定着支援事業に取り組みます。(7月より予定・職員配置変更なし)
- ・第三者評価の受審。

② 財政

- ・1日の平均利用者数の見込みは33名、新規利用者数の目標を12人とし、就労・就学を積極的にすすめます。

③ 利用者支援

- ・利用者の入れ替わりの多さ、年齢層の幅、通過型事業の良さを生かし、事業所全体の活性化をめざします。

④ 作業活動

- ・作業は、室内の多種類の組み合わせによる時給及び室外作業出来高とし、総合力と、月額工賃の向上を図ります。
- ・施設外就労、職場実習、健康・体力増進対策セミナーなどの機会を増やします。

⑤ 障害者雇用

- ・1~3階の清掃業務で、週21~25時間の障害者雇用を継続します。

3、利用状況

定員 40 人 / 契約者数 66 人 (4月1日現在)
(生活訓練 19 名、B型 47 名) (男性 42 人 女性 24 人)

4、数値目標

	平成29年度実績(3月末見込)	平成30年度目標(年間平均)
年間開所日数(※1)	243日	240日
一日平均利用者数	32.9人(B型25.1、生訓7.8)	33人
年間新規登録利用者数	16人	12人
年間就職者・就学者数	2人	3人
月額平均工賃支給額 合計	円/1人	円/1人
就労継続支援B型	14,214円	15,000円
生活訓練	8,559円	9,000円

* 月額平均工賃 : 月額工賃支払総額 ÷ 工賃支払対象実人数とし、0円の場合は対象としない

2018(平成30)年度 事業計画 [社会福祉法人マインドはちおうじメゾンコム]

ユニット：「メゾンコム」「カーサコム」「ハウスコム」

障害者総合支援法障害福祉サービス 共同生活援助（介護サービス包括型）事業／都補助事業：通過型指定

1. 平成30年度事業方針

①法人理念に沿った支援の継続

- ・法人全体・ホーム事業の一体的な運営方針の元、相乗効果をはかり、支援を一層、充実します。

②入居者ニーズに合わせた支援の充実とホームの環境整備

- ・障害多様化への対応と日常生活支援・生活訓練機能の充実、暮らしの張合いの尊重、今後のニーズも見据え、個々の目標と希望を反映できる個別支援計画の作成と達成をめざします。また、引き続き、施設内外の美化・アメニティーを向上し快適に利用し、働ける環境の整備をすすめます。

③制度や地域環境の変化に対応できるよう運営基盤の強化

- ・平成30年の支援法改定・都制度改定に伴う、報酬減や重度対応傾向などを視野に入れ、その変化に対応が図れるようにします。加えて、空室対策のため、入居希望者・待機者の確保に努めます。

2. 平成30年度重点課題、及び具体的な取り組み

①施設運営管理

- ・国の制度改定と大幅な都制度改定、地域事情の変化に対応し、重度者支援機能の向上（職員基準5：1から4：1へ変更）や病院からの地域移行にも応えられるようホームの果たす役割・機能を明確にしていきます。
- ・報酬請求や予算決算を含む会計業務の標準化、マニュアル作成やOA機器も積極的に活用し効率化をはかり、情報管理の徹底と第三者にも理解・チェックが出来るようにします。また、入居準備から入居・退居支援に至る説明資料、支援ツールを汎用・共用化し、個々の業務を軽減します。
- ・サテライト型ホームの実施：滞在型ホームが具体化しない中、直接アパート退居が困難な方のニーズに応えることと、サテライト型が精神障害者の地域移行の新たな支援の手立て・選択肢となる可能性も含め、5月にハウスコムの近隣に居室を1室確保します。
- ・新設事業所名の変更：平成18年の支援法施行時からの事業所名称は、法人名とユニット名「メゾンコム」が重複し混同しやすいこともあり、10月1日に名称変更を予定します。

②財 政

- ・財政の根幹である空室対策を、待機者確保の工夫や本人・関係者への情報提供など、さらに強化し、入居前から入居・退居後ケアまで総合的なクオリティーを上げ、「選ばれるホーム」をめざします。

③入居者支援

- ・支援計画の充実と達成のため進捗を利用者と共有し支援をすすめます。個々の健康管理（食生活、運動、服薬支援、体重管理、通院同行等）、生活訓練メニュー、家事・金銭管理支援を充実します。また、個々に見合った日中活動のあり方・退居先を確保します。
- ・入居者に合わせた、サービス支援量（職員配置、勤務時間）を3ユニットの入居者のニーズ、生活形態に沿って柔軟に配置します。発達・知的・高次脳機能・障害などの支援技術を高めます。また、今年度中に第三者評価事業の受審をし、支援の向上をはかります。

④安心・安全な環境整備他

- ・大災害だけでなく、風雪、停電、防犯等による入居者の不安を解消し、退居後も自らの安全を確保出来るようにします。休日・夜間、緊急時の連絡体制整備、法人事業所との協力・連携を高めます。
- ・関係支援機関職員が参加し、入居申込者や個別支援計画の検討の場である「顧問医会議」・「入居支援会議」を研修的な場としても活用すること。また、内外の研修の機会を積極的に持ちます。
- ・入居者及び退居後のアフターケア充実のため、訪問看護事業所、相談支援事業所など関係機関と連携し、支援がホームで完結せず、抱え込まないよう、地域そのものの支援力を高めて行きます。

2018(平成30)年度 事業計画 [マインドはちおうじ相談支援センター]

障害者総合支援法 障害福祉サービス : 特定相談支援事業、一般相談支援事業、自立生活援助 (予定)

1、平成30年度事業方針

- (1) おひとりおひとりにあった「生活の豊かさ」の実現に向け、障害福祉サービス等についての情報提供及び調整を行い、希望や目標に一步一步、歩める実感が持てるサービス等利用計画を作成します。
- (2) ご本人、ご家族の他、サービス提供事業者や通院先などの関係機関とも連携を図り、一体的・総合的なサービスが提供されるよう調整を行い、ご本人も含めたチーム作りをすすめます
- (3) 精神科病院等に長期に入院の方が希望する街で自信をもって安心した地域生活がおくれるよう、一般相談支援事業及び自立生活援助事業に積極的に活用し、地域移行をすすめます。

2、平成30年度重点目標

- (1) 施設運営管理
 - ① 新しい報酬体系合わせた書式の整備及び新たな職員体制での業務分担や役割の見直しを行ないます
 - ② 支援センター連絡会や計画相談事業所連絡会、地域移行個別支援会議等へ参加をし、ネットワークの構築を図り、関係機関とともに地域課題の検討及び取り組みをすすめます。
- (2) 財政
 - ① 特定事業所加算取得へむけて、事業所体制の整備・構築を行います
 - ② 法人サービス外の相談ニーズや地域移行支援及び自立生活援助などニーズに対応します
- (3) 利用者支援
 - ① 相談員の経験や技術に合わせた適切な研修の選定及び積極的な参加とともに、事例検討の定例化と現任研修修了者により OJT の実践等を行い、相談支援専門員の質の向上に取り組みます
 - ② ピアサポーターの育成と地域移行支援への活用していきます

3、利用状況 契約者数 178人 (4月1日予定)

4、数値目標

	平成29年度実績(3月末見込)	平成29年度目標(年間平均値)
契約者実数(年度利用者数)	197人	220人
計画作成及びモニタリング数	735件	876件
月平均	61.25人	73人
地域移行利用者数	3人	6人
自立生活援助利用者数(予定)		2人

5、研修計画

- ・平成30年度東京都相談支援従事者初任者研修受講
- ・平成30年度東京都相談支援従事者現任研修の受講
- ・多摩総合精神保健福祉センター 精神保健福祉研修の受講
- ・八王子市虐待防止研修の受講
- ・その他、地域移行及び相談支援専門員の質の向上に伴う研修会へ参加
- ・事業所内事例検討会及び相談支援従事者現任研修修了者による同行研修等

*新サービスである自立生活援助については、今後の報酬改定の人員配置や要件の内容により、実施時期を検討する



【 法人協力関係機関 】

事業所名	協力医療機関・役割（敬称略）
ピアわかくさ	平川病院
リサイクルわかくさ	駒木野病院
ビーイングスペース萌	平川病院
オープンスペース本郷町	恩方病院
メゾンコム	駒木野病院
メゾンコム 顧問医	駒木野病院 渡辺 任 医師
メゾンコム 協力歯科医療機関	もくだい歯科医院
苦情解決 第三者委員	多摩病院 廣井 亮PSW

【 各職員の地域団体役割 】

団体名	役割	職員氏名	所属
特) ワークセンター	理事	小柳 秀	ピアわかくさ
八王子障害者団体連絡協議会	運営委員	有賀 豊	リサイクルわかくさ
八王子市地域精神保健福祉連絡協議会	専門部会委員	川出 勇	リサイクルわかくさ
八王子市	民生・児童委員	川出 勇	リサイクルわかくさ
八王子市	障害者支援区分 認定審査会委員	有賀 豊	リサイクルわかくさ
八王子市障害者地域自立支援協議会	委員	有賀 豊	リサイクルわかくさ
八王子市障害者地域自立支援協議会 地域移行・継続支援部会	副部長	山本 誠	メゾンコム
八王子市障害者地域自立支援協議会 地域移行・継続支援部会 日中活動支援事業所連絡会	幹事	平田 道子	オープンスペース本郷町
八王子市障害者地域自立支援協議会 地域移行・継続支援部会 地域移行個別支援会議	運営委員	中島 美穂子	マインドはちおうじ 相談支援センター
八王子市障害者地域自立支援協議会 事業所部会（仮称） 八王子計画相談支援連絡会	世話人	中島 美穂子	マインドはちおうじ 相談支援センター
特) わかくさ福祉会	理事	山本 誠	メゾンコム
特) くらしとこころのサポートネット八王子	理事長	曾雌 洋子	ピアわかくさ
特) くらしとこころのサポートネット八王子	理事	山本 誠	メゾンコム
特) 全国精神障害者地域生活支援協議会	機関誌「あみ」編集委員	杉江 由佳	メゾンコム
一社) 精神障害者地域生活支援とうきょう会議	センター部会事務局	中島 美穂子	マインドはちおうじ 相談支援センター
一社) 精神障害者地域生活支援とうきょう会議	調査部会員	杉江 由佳	メゾンコム



事業所名	受注・納品先	内容
ピアわかくさ オープンスペース本郷町	DMソリューションズ	ダイレクトメール丁合、封入、封かん、宛名ラベル貼り、メール便・郵便区分け等
リサイクルわかくさ	秀栄	ゴルフボールの汚れ落とし、磨き
ピアわかくさ オープンスペース本郷町 リサイクルわかくさ	東京新聞ショッパー社	ショッパー配布
オープンスペース本郷町	リビングプロシード武蔵野多摩センター	リビング多摩配布
リサイクルわかくさ	八王子市公園課（ワークセンター経由）	公園清掃
ピアわかくさ	大森クリニック	精神科診療所の給湯室及びトイレ清掃
	藤井商店	マツタケ箱組立、野菜等の梱包資材のラベル貼り
	清水司法書士事務所	封筒作成
	一般社団法人 日本非常食推進機構	元横山町第二町会 防災備蓄品管理
ピアわかくさ オープン スペース本郷町	ゼロエミッション	ホビーオフ施設外作業、トレーディングカード
	アイエスエフ	チラシポスティング
オープンスペース本郷町	MNH	天狗の鼻かりんとう包装・発送
	YOU&I	PC教室補助 イベント販売補助
	マゴメ	米粉の計量・袋詰め
	榮太樓	菓子・おこわ等包装、贈答セット組
ビーイングスペース萌	平川病院	パン納品・販売関係
	駒木野病院	
	(保育園) 浅川、みなみ野さゆり、みなみ野、長房中央、たんぼぼ、敬愛グループ他	
	(学童保育所) 寺田第一、寺田第二、北野、浅川、横山、七国、敬愛グループ他	
	八王子市社会福祉協議会	
	八王子市子ども家庭部保育幼稚園課	
	エームサービス	
	テンプスタッフ・ウィッシュ	
	いまここカフェ杜丸	
mihara kitchen & books		
スマイルこどもクリニック	清掃業務受託	